

## 令和3年度主要事業の実施状況（健康増進分野）

## 1 減塩・ベジアッププロジェクト事業

生活習慣病（特に脳血管疾患と心疾患）のリスク因子を減らすため、山形が誇る豊かな“食”を楽しみながら健康長寿日本一を目指す「減塩・ベジアッププロジェクト」を展開し、健康的な食生活の普及・定着を促進する。

## (1) 減塩や野菜の摂取を呼びかけるキャンペーンの展開

## ① スーパー等においてキャンペーンを実施

毎月19日の「減塩・野菜の日」を中心に、スーパーのサービスデーなどに合わせて、減塩や野菜の摂取を呼びかけるキャンペーンを展開

- ・ キューピーやカゴメと連携した店頭でのPR活動の実施  
ベジチェック、野菜計測体験、レシピ・チラシの配布等
- ・ “米沢栄養大学推奨”野菜たっぷり商品の販売
- ・ “かるしお”認定商品をはじめとする減塩商品の特設コーナーの設置



ベジチェック



野菜たっぷり商品

## ② 県庁・総合支庁の食堂等と連携した取組み

- ・ 塩分を控え1日に必要な野菜の半分以上を摂取できる「ベジボックス」の販売
- ・ 総合支庁食堂における適塩ランチ等の販売

## ③ メディア等を活用した普及啓発

- ・ 新聞広告、テレビ、ラジオを活用した普及啓発の実施
- ・ ポスター、チラシを活用した普及啓発の実施

## (2) やまがた健康づくり応援企業の募集及び米沢栄養大推奨野菜たっぷり商品の販売・PR

- ・ 県民に減塩や野菜の摂取を促すための取組みとして、主体的に減塩・ベジアップキャンペーンを実施し、又は、県若しくは他の応援企業が実施するキャンペーンに協力する応援企業を募り、協同でプロジェクトに取り組んだ
- ・ 応援企業が、米沢栄養大学の定めた基準を満たした惣菜を開発し、県がデザインした“米沢栄養大学推奨”シールを貼付して販売

## (3) 家庭・学校での減塩・ベジアップ教育

- ・ 教育庁と連携を図り、米沢栄養大学監修のリーフレットを活用し、学校における食育（子ども）を通じて、家庭（家族）の減塩・ベジアップを促進

## (4) 地域食育タスクフォース

- ・ 各保健所が事務局となり、地域の子育て、教育、6次産業等の関係者と連携を図りながら、食生活改善の取組みを推進

- ・県ホームページ「地域食生活・健康情報ステーション」で保健所が作成したレシピを情報発信
- ・管理栄養士の事業所訪問による普及啓発の実施

## 2 やまがた健康ガイドの発行【やまがた健康フェアを新型コロナの感染予防の観点から組替】

### ① 目的

健康づくりを担う関係機関・団体と協働で、健康・医療・介護予防に関する様々な情報を県民に発信し、若い方から御高齢の方まで自発的な健康づくりや生活習慣の見直し、定期的な健診受診を促すとともに、「新・生活様式」に対応した健康づくりを行う契機を提供することにより、県民一人ひとりの健康意識向上を通じて、「健康長寿日本一」の実現を目指す。

### ② 内容

- 山形の豊かな自然環境を活かしたトレッキングコースの紹介
- 参加型ウォーキング事業の紹介
- 自宅でできるストレッチ体操
- 食と健康に関する情報
- 生活習慣病などの疾病予防に関する情報 等



### ③ 発行

9月下旬に20万部を発行し、山形新聞折込み、実行委員会に参画する各団体による配布、スーパーマーケットへの設置、ホームページ掲載等、様々な手法で情報発信

## 3 健康経営推進事業

### (1) 健康経営特別番組「いま注目！山形版健康経営」の制作、放送

#### ① 目的、概要

県内事業所における従業員の健康づくりを推進するために、県内の経営者や総務担当者を対象に、健康経営に係る政府の取組みや県内の最新事例などを紹介する。

#### ② 日時等

令和3年10月30日（土）14：50～15：45

主催：県・山形放送

#### ③ 内容（取材先）

- ・各事業所の実践事例の紹介でん六、晃永運輸
- ・県と健康経営アドバイザーによる健康経営実践支援について（アクサ生命保険米沢営業所、落合堂製作所）
- ・健康経営のメリット、コロナ禍での健康経営について  
（東京大学政策ビジョン研究センター特任教授・内閣府経済財政諮問会議専門委員（社会保障担当） 古井 祐司氏）



### (2) 健康経営推進コンソーシアムの開催

#### ① 目的、概要

「コロナ禍での健康経営」をテーマに、健康経営をめぐる国や県の動向等について理解を深めるほか、関係団体の連携を強化し、コロナ禍の中で健康経営を停滞させずに推進させる施策や健康経営をとおして県全体の活性化につながる取組みについて検討する。

- ② 日時等 令和3年10月25日（月）10：30～12：00 リモート開催
- ③ 参加者

古井祐司氏、山形県がん対策・健康長寿日本一推進課、全国健康保険協会山形支部、健康保険組合連合会山形連合会、山形商工会議所、酒田商工会議所、新庄商工会議所、長井商工会議所、天童商工会議所、アクサ生命保険山形支社、山形放送

#### 4 やまがた健康づくり大賞

##### ① 目的

健康づくりに積極的に取り組み、他の模範となる企業及び団体等を顕彰することにより、その功績等を称えとともに、その活動内容を広く紹介し、県民の健康づくりを推進する。

##### ② 審査部門

「健康経営部門」「地域団体部門」「減塩推進部門」「ベジアップ推進部門（新設）」の4部門

##### ③ 募集期間

令和3年8月2日～9月30日

##### ④ 選考結果

健康経営部門 (株)サニックス（山形市）  
 (有)備研（鶴岡市）  
 減塩推進部門 医療法人社団清永会  
 矢吹病院（山形市）、  
 ベジアップ推進部門 (株)ヤマザワ（山形市）



#### 5 やまがた健康マイレージ事業

##### ① 目的

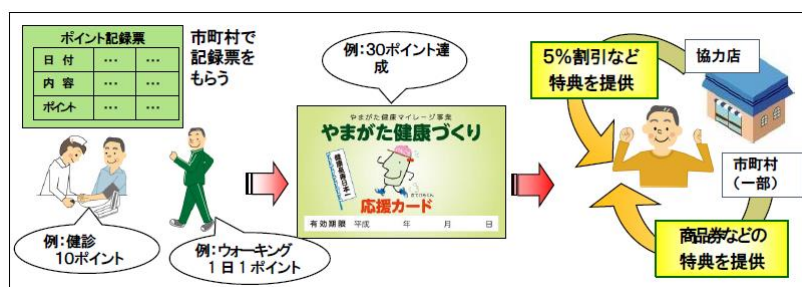
県民一人ひとりの自発的な健康づくりの実践を促すことにより、生活習慣の改善を図るため、楽しみながら、継続的に健康づくりに取り組める環境を整備する。

##### ② 実施市町村数

31市町村

##### ③ 協力店舗数

698店舗(令和4年4月現在)



#### 6 受動喫煙防止対策

##### (1) 目的

令和2年4月に施行された改正健康増進法（以下「改正法」）及び山形県受動喫煙防止条例（以下「条例」）に基づき、望まない受動喫煙の防止のための取組を推進する。

## (2) 事業内容

- ① 改正法及び条例の施行と受動喫煙による健康影響の周知
  - ・ 県民に対して、広報媒体や各種イベント、職員出前講座等を活用した普及啓発活動を実施
  - ・ 事業者に対して、リーフレット配布、巡回訪問、職員出前講座等を活用した普及啓発を実施
- ② 改正法及び条例の施行に対する対応
  - ・ 義務違反に対する指導・助言、立入調査等を実施
  - ・ 屋内禁煙とした飲食店等に禁煙標識を交付
- ④ 禁煙治療実施機関の情報提供を実施  
「保険適用による禁煙治療実施医療機関」を県ホームページに掲載

## (3) 令和3年度「喫煙対策総合推進事業」実績

### 1 受動喫煙防止対策キャンペーン

	村山	最上	置賜	庄内
巡回訪問	59件	35件	1件	21件
イベント等	4回	1回	4回	2回
食品衛生責任者講習会等	24回	9回	9回	9回
その他(面談・電話等)	15件	2件	1件	1件

### 2 たばこ関連相談

村山	最上	置賜	庄内
5件	2件	6件	0件

### 3 未成年の喫煙防止対策(講演等)

村山	最上	置賜	庄内
1回	1回	1回	2回

### 4 妊産婦の喫煙防止対策

村山	最上	置賜	庄内
0回	0回	0回	0回

### 5 若年者等対象普及啓発活動(講演会等)

村山	最上	置賜	庄内
1回	0回	2回	1回

### 6 その他の事業(一般県民対象)

村山	最上	置賜	庄内
1回	0回	4回	0回

## 7 糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防事業

### ① 目的

糖尿病や慢性腎臓病の重症化による人工透析の導入は生活の質に大きな影響を及ぼすため、関係機関と連携し、重症化予防、人工透析への移行を防止する。

### ② ハイリスクアプローチ事業の実施

国民健康保険の被保険者を対象に、特定健康診査データを基に、重症化リスクの高い者をリストアップし、市町村に提供するとともに、データ活用に関する研修を行い、市町村におけるハイリスク者への受診勧奨により適切な医療につなげる。

#### ・糖尿病及び慢性腎臓病重症化予防に係る研修会

日 時：令和3年8月30日（月） 13:20～16:00

会 場：Web開催（Zoom使用）

内 容：重症化予防に関する個人リストの内容と活用方法、人工透析導入ハイリスク者リストを活用した介入（米沢市）、人工透析導入ハイリスク者に対する保健指導のポイント ほか

参加者：市町村・保健所担当者等 87名

#### ・ハイリスク者データの提供 1,313人

### ③ 糖尿病等対策検討会の開催

日 時：令和4年3月2日（水）14:00～15:30

会 場：Web開催（Zoom使用）

内 容：（1）「山形県糖尿病及び慢性腎臓病（CKD）重症化予防プログラム」追加資料

（2）令和3年度糖尿病及び慢性腎臓病（CKD）重症化予防事業実施状況

①ハイリスクアプローチ事業

②置賜地域における医療機関と保険者との連携体制構築モデル事業

③県プログラムに係る状況調査

④県プログラムにおける評価指標及び参考資料

（3）各機関・団体における取組み状況

参集範囲：県糖尿病対策推進会議、県医師会、県歯科医師会、県薬剤師会、県看護協会、県栄養士会、県保険者協議会、各保健所等

### 【関連事業】

### ④ データを活用した保健事業の推進

東京大学都道府県向けリーダーシップ・プログラムを活用した市町村の保健事業支援

#### ・保健事業従事者研修会（委託先：国民健康保険団体連合会）

日 時：令和3年11月25日（木）13:30～16:20 Web（Zoom）開催

参加者：市町村・保健所担当者等 85名

内 容：（1）説明「KDBシステムデータを使用した年齢調整」

（2）講演「標準化による効率的・効果的な事業運営に向けて」  
事例発表「保健事業カルテを活用してみて」（舟形町）

（3）説明「昨年度の標準化ツールの集約結果より」



- ・健康増進事業評価検討会（各保健所で開催）

東京大学提供の標準化ツール（保健事業カルテ）を活用した、市町村保健事業（特定健診事業）について情報共有と助言を実施

## 8 アレルギー疾患対策

### (1) アレルギー疾患医療連絡会議

本県におけるアレルギー疾患対策の現状及び課題について関係者間で情報を共有し、それぞれの視座から助言等を得て、県のアレルギー疾患医療対策関連事業の方向性を検討する。

#### ① 参集範囲

- ・保健医療関係者（拠点病院、県立中央病院、県医師会、県薬剤師会、県看護協会）
- ・地域保健・学校保健関係者（栄養関係）（県栄養士会、県栄養教諭・学校給食栄養士会）
- ・行政機関・学校保健関係者（山形市保健所、県保健所、教育庁スポーツ保健課）
- ・事務局（県健康福祉部がん対策・健康長寿日本一推進課）

#### ② 開催内容（令和4年3月下旬書面開催）

- ・令和3年度アレルギー疾患医療従事者研修会の実施報告
- ・令和4年度の取組みについて（アレルギー疾患医療連絡会議、アレルギー疾患医療従事者研修会の実施、アレルギー疾患医療に関する医療機関調査の実施）

### (2) アレルギー疾患医療従事者研修会

アレルギー疾患医療に携わる医療従事者の知識や技術の向上を図ることを目的に実施（拠点病院である山形大学医学部附属病院への委託）

#### ① 開催日時・場所

オンライン聴講：令和4年2月21日から同年3月31日までYouTubeにて公開

#### ② テーマ「聞きたい！知りたい！アレルギーの話」

- ・アレルギー性鼻炎Up-to-date  
（講師：山大医学部耳鼻咽喉・頭頸部外科学講座 助教 倉上和也）
- ・アトピー性皮膚炎の治療とスキンケア  
（講師：山大医学部皮膚科学講座 助教 矢口順子）
- ・食物アレルギーとの付き合い方（食事制限は最小限に）  
（講師：米沢市立病院 小児科 部長 本間信夫）
- ・Withコロナで考えるぜんそく治療  
（講師：山形大学医学部 内科学第一講座 講師 井上純人）

第28回アレルギー週間 市民公開講座 医療従事者向け研修会（山形県委託事業）

参加 無料

聞きたい！知りたい！アレルギーの話

日時 2022年2月19日（土）

時間 午後13時～14時30分

場所 山形テルサ 1階 大会議室 山形市東区1-3-3 TEL. 025-644-9977

新型コロナウイルス拡大防止と参加者の安全確保のため、会場での座席は先着40名とさせていただきます。

日程

1「アレルギー性鼻炎 Up-to-date」 講師 欠畑 誠治 先生

2「アトピー性皮膚炎のスキンケアと治療」 講師 倉上 和也 先生

3「食物アレルギーとの付き合い方（食事制限は最小限に）」 講師 矢口 順子 先生

4「Withコロナで考えるぜんそく治療」 講師 本間 信夫 先生

講師 井上 純人 先生

## 令和3年度主要事業の実施状況（がん対策分野）

### 1 がん総合相談支援センター運営事業

#### ① 目的

がん患者やその家族の相談窓口として、各地域の拠点病院に設置している「相談支援センター」を補完し、相談機能を充実するため、治療に関することだけでなく、仕事と治療の両立や療養生活に関することなど、がん患者やその家族の悩みに寄り添える相談窓口を病院以外に設置するとともに、がん経験者の協力を得て、患者同士、家族同士で支え合うことのできるピアサポート活動を支援する。

#### ② 事業の概要

##### ア 相談窓口の設置

県内5か所（山形市、酒田市、新庄市、米沢市、南陽市）に相談窓口を設け、対面相談、電話相談のほか、令和3年度からはオンライン相談も開始。

##### イ ピアサポート活動支援事業

##### ○ ピアサポーターのフォローアップ研修会を開催

（平成29年度～令和2年度：ピアサポーター75人養成）

##### ○ ピアサポーターによるがんサロンの開催等

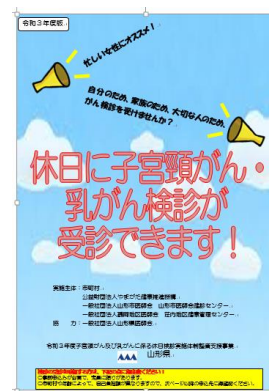
※ 「ピアサポート」とは、がんの治療をした方やその家族が、経験を共有し、ともに考え、がん患者の方やその家族等を支援する活動をいい、ピアサポートをする人をピアサポーターという。

### 2 女性のがん検診受診率向上対策

#### ① 目的

女性特有のがんである子宮頸がんの本県の検診受診率は全国1位、乳がんの検診受診率は全国3位と高いながらも、それぞれ47.3%、46.5%と50%にも満たない状況にある。

女性が受診しやすい環境づくりを推進し、受診率を向上させるため、10月の「がん検診推進強化月間」に合わせて、休日や平日夜間に検診が実施されるよう支援する。



#### ② 概要

令和3年10月の土日祝を中心に市町村が実施する子宮頸がん検診及び乳がん検診において、医師など検診従事者の確保が困難な場合の従事者派遣経費を検診機関に補助

### 3 都道府県がん診療連携拠点病院機能強化事業

① 県の中心ながん診療機能を担い、都道府県がん診療連携拠点病院（県立中央病院）で専門ながん医療を行う医師、薬剤師、看護師等を対象とした研修の実施、情報提供、症例相談や診療支援を実施し、県がん診療連携協議会を開催

② さらに、自院の機能強化を図り、がん患者及びその家族等に対する相談支援、がんに関する各種情報の収集・提供等の事業を実施することにより、質の高いがん医療の供給体制を整備

#### 4 地域がん診療連携拠点病院機能強化事業

##### ① 目的

厚生労働大臣が指定した「地域がん診療連携拠点病院」において、がん医療に従事する医師等に対する研修、がん患者や家族等に対する相談支援、がんに関する各種情報の収集・提供等の事業を実施することにより、地域におけるがん診療連携の円滑な実施を図るとともに、質の高いがん医療の提供体制を確立することを目的とする。

##### ② 対象

日本海総合病院、山形市立病院済生館、山形県立新庄病院、公立置賜総合病院

#### 5 がん登録等の推進に関する法律に基づくがん登録

##### ① 制度

がん登録等の推進に関する法律に基づき、日本でがんと診断されたすべての人のデータを、国立がん研究センターで1つにまとめて集計・分析・管理する仕組み

##### ② 内容

- ・全国がん登録の実施
- ・山形県がん登録情報利用審議会の開催

#### 6 医療用ウィッグ・乳房補整具購入助成事業

##### ① 目的

治療と就労の両立、療養生活の質の向上に向け、がんの治療に伴う外見の悩みに対して支援するため、がん患者に対し、医療用ウィッグと乳房補整具の購入費用を助成する。

##### ② 事業内容

- ・助成対象 がんの治療に伴う脱毛又は乳房の切除を受けたがん患者
- ・助成金額 購入経費の1/2

(上限額) 医療用ウィッグ：2万円 (県1/2、市町村1/2)

乳房補整具：1万円※ ( 同上 )

※一部市町村で独自の上乗せあり

##### ③ 助成実績

<医療用ウィッグ>

R1年度：489人 R2年度：430人 R3年度：410人

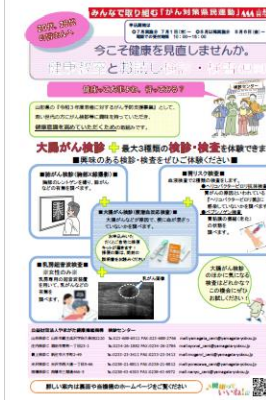
<乳房補整具>

R2年度：35人 R3年度：31人



## 7 健康長寿県やまがた推進基金活用事業費若者に対するがん予防支援事業

基金を活用し、がんに対する関心が薄い20代から30代の若者に対し、正しい知識やがん予防の普及啓発を行う健康教室を実施するとともに、検査経費の支援を行い、健康意識の向上を図る。



## 8 山形大学医学部との連携によるがん克服事業【新規】

「健康長寿日本一」の実現に向けた施策・事業に実効性を持たせるため、山形大学医学部と連携し、がんの発症や生活習慣病の予防に必要な生活習慣の改善要素を明らかにするための調査研究を行い、山形県民のデータに基づくがん予防のための提言を得た。

### 山形県民の「がん」と生活習慣の関連

～山形大学医学部における調査研究の結果から～

山形大学医学部では、同大学が2008年に開始した「山形コホート研究」の対象者約2万人の山形県民のがん罹患状況と食事・生活習慣に関するデータをもとに、がんの発症と食事や生活習慣の関連性を分析しました。県民の「飲酒」「喫煙」「食塩摂取」「歩行運動」に着目して県民の「がん」の発症率の傾向に結びつきを改善策をご提言します。

#### 1 山形県の現状

◆亡くなる方の4人に1人が、「がん」

県民平均年齢が延びるにつれて、令和2年に100歳まで生きるといった方が15,348人となり、がんで亡くなる方が3,890人。これは全体の25.3%に相当し、**がんに罹る人の割合が1割**です。

◆「がん」になる方は、年間約1万人

令和3年に山形県でがんを発症された方は5,480人。国立がん研究センターの最新データによれば、北海道でがんに罹る者の割合は、男性65.0%、女性50.2%で、男女ともに2人に1人はがんになるといわれています。

性別	罹患数
男性	2,238人
女性	1,652人

性別	罹患数	種別
男性	5,479人	胃がん 前立腺がん 大腸がん 肺がん 食道がん
女性	4,001人	乳がん 大腸がん 膵臓がん 胆膵がん 膵臓がん

**がんになる人、がんで亡くなる人を減らすには、何が出来るか?**

高血圧に悩まされている人は、がんにも罹患する？  
生活習慣病に悩まされている人は、がんにも罹患する？

#### 2 山形大学医学部が行った調査研究の概要

項目	調査結果	研究結果をまとめた生活習慣について
喫煙	禁煙・しない	研究結果をまとめた生活習慣について
飲酒	禁酒・しない	研究結果について
食塩摂取	以上・未満	研究結果について
野菜摂取	350g	研究結果について
歩行運動	30分	研究結果について

**結論** 山形県民の「がん」予防のために、いくつかの生活習慣の改善は有効である。

### 3 山形県民のためのがん予防法

#### ① たばこを吸っている人は禁煙

喫煙はがんの発症リスクを2.74倍高めるというデータが、死亡リスクを1.87倍高めるというデータが示されています。

#### ② 飲酒は節度を持って

飲酒はがんの発症リスクを2.74倍高めるというデータが、死亡リスクを1.87倍高めるというデータが示されています。

#### ③ 食塩摂取は1日8g未満に

食塩摂取はがんの発症リスクを2.74倍高めるというデータが、死亡リスクを1.87倍高めるというデータが示されています。

#### ④ 野菜摂取は1日350g以上に

野菜摂取はがんの発症リスクを2.74倍高めるというデータが、死亡リスクを1.87倍高めるというデータが示されています。

#### ⑤ 1日30分以上歩くまたは同等以上の運動を

歩行運動はがんの発症リスクを2.74倍高めるというデータが、死亡リスクを1.87倍高めるというデータが示されています。

# 令和3年度主要事業の実施状況（歯科口腔保健分野）

## 1 各市町村で実施する歯周疾患検診

### ① 概要

歯周疾患検診の実施（市町村、県、国が1／3ずつ負担）

### ② 対象者

当該年度に40歳、50歳、60歳、70歳に達する者

### ③ 受診方法

対象者に対して市町村で案内通知を発送。対象者は指定された歯科診療所に予約のうえ、受診（35市町村で実施 令和2年度受診率：3.5%）

## 2 歯科口腔保健の普及啓発や調査研究等を行う「山形県口腔保健支援センター」の設置運営

### ① 目的、概要

歯科口腔保健の推進に関する法律に基づき、歯科医療等業務に従事する者等に対する情報の提供、研修の実施その他の支援を行う機関として、山形県健康福祉部がん対策・健康長寿日本一推進課内に「山形県口腔保健支援センター」を設置

### ② 開所日 平成30年6月4日（月）

### ③ 業務内容

市町村が行う歯科保健事業への支援や一般県民に対する普及啓発を行うとともに、障がい児の歯科疾患予防のため特別支援学校でのフッ化物歯面塗布（8参照）を行うほか、以下の事業を実施

＜令和3年度の主な事業＞

#### ○ 『介護から歯科へつなぐガイド』リーフレットの作成



要介護者の家族や介護従事者の方々に訪問歯科を検診していただけるよう、歯科受診が必要となるような口腔内の特徴などについて掲載

#### ○ 就労継続支援事業所での歯科保健講話、ブラッシング指導



#### ○ 歯科保健に携わる職種（令和3年度は管理栄養士、栄養士）を対象とした、歯科保健に関する知識共有のための研修会の開催（3参照）

### 3 歯科保健に関する研修事業

#### ① 目的

歯科口腔保健に携わる多職種(歯科専門職以外)と、歯科口腔保健に関する知識の共有を図る。

令和3年度は山形県栄養士会と連携し、栄養士会の生涯教育研修会において、摂食嚥下機能に関する研修会を開催した。



#### ② 日時 令和3年7月10日(土)

#### ③ 場所 山形食糧会館 ※集合型とオンライン(ZoomでのLIVE配信)の併用での開催

#### ④ 内容

ア) 講演「摂食嚥下機能の維持のために～お口を鍛えて健康長寿!～」

講師 山形県口腔保健支援センター 歯科医師 吉田 雪絵  
歯科衛生士 伊藤 典子

イ) 実演 舌口唇運動機能検査機器『健口くん®』を用いた口腔機能評価

### 4 成人歯科保健対策推進事業

#### ① 目的、概要

職域における歯科健診体制を整備し、かかりつけ歯科医の定着促進を図るため、歯科医師及び歯科衛生士が事業所を訪問し、「生活歯援プログラム」を活用した歯科保健指導を行い、精密検査が必要な者に歯科医院の受診を促すもの(県歯科医師会に委託)

※令和2年度は新型コロナウイルスの影響により、対面での実施を見送り、Zoomによるオンラインでの歯科保健指導に変更したが、歯周病スクリーニングのための簡易検査などは対面でないとは実施できず、事業所からの要望も多かったことから、令和3年度は新型コロナウイルス感染対策を徹底し例年通りの方式で実施した。

#### ② 令和3年度実施事業所

(株)ヤマコン、藤庄印刷(株)、(株)サニックス、(株)ジェイ・サポート

### 5 在宅歯科医師養成のための講習会の開催

#### ① 目的

在宅歯科診療を行う歯科医師等の養成(県歯科医師会に委託)

#### ② 日時 令和3年10月16日(土)、17日(日)

#### ③ 場所 山形県歯科医師会館からのZoomによるWeb配信

#### ④ 内容

ア 「健康長寿 鍵は“食力”－国家戦略としてのフレイル予防・オーラルフレイル予防－」

講師 東京大学高齢社会総合研究機構 教授 飯島 勝矢 氏

イ 「超高齢社会における口腔機能低下への対応」

講師 大阪大学大学院歯学研究科 顎口腔機能再建学講座

有床義歯補綴学・高齢者歯科学分野 教授 池邊 一典 氏

ウ 「かかりつけ歯科医が実施する高齢者への摂食機能療法と歯科治療  
～診療室を核にした在宅支援、その考え方と手技～」

講師 日本大学歯学部摂食機能療法学講座 教授 植田 耕一郎 氏

## 6 在宅歯科診療を実施するための医療機器整備事業

### ① 目的、概要

在宅歯科医療提供体制の充実を図るため、歯科医療機関に対し、在宅歯科診療に必要な医療機器の整備費用を補助

### ② 対象

在宅歯科医師養成のための講習会を修了した歯科医師が常勤する歯科診療所等

### ③ 補助率 2 / 3

## 7 在宅歯科医療連携室による県民や医療介護職などへの普及啓発

### ① 目的、概要

地域における在宅歯科医療の推進及び他分野との連携体制を構築するため、在宅歯科医療連携室を設置・運営（県歯科医師会に委託）

### ② 設置場所

山形県歯科医師会館内（平成30年度から歯科衛生士を1名配置）

## 8 特別支援学校でのフッ化物歯面塗布の実施

### ① 目的、概要

障がい児のむし歯予防対策を推進するため、特別支援学校に歯科医師及び歯科衛生士を派遣し、希望する児童・生徒に対してフッ化物歯面塗布を実施

### ② 実施校 特別支援学校 17校 / 年2回

## 9 障がい者歯科保健研修会の開催

### ① 目的

障がい者の歯科診療に対応できる人材の育成（県歯科医師会に委託）

### ② 日時 令和3年11月6日（土）

### ③ 場所 山形県歯科医師会館からのZoomによるWeb配信

### ④ 内容

「障がい児・者の口腔内の特徴と歯科診療時の対応」

講師 口腔保健育成学講座小児歯科学・障害者歯科学分野 教授 森川 和政氏

## 10 歯科衛生士の確保対策及び在宅歯科診療に対応できる人材育成のための研修会の開催

### ① 目的

臨床の現場を離れた歯科衛生士の復職支援、在宅における適切な口腔ケアを提供できる知識・能力を有する歯科衛生士の養成（県歯科医師会に委託）

### ② 日時 令和3年12月26日（日）

### ③ 場所 山形県歯科医師会館からのZoomによるWeb配信

④ 内容

ア 「歯周病の重症化予防における歯科衛生士の役割」

講師 NDL 株式会社代表取締役社長（歯科衛生士） 長谷 ますみ氏

11 歯科医療安全管理体制推進研修会の開催（県歯科医師会に委託）

（1）歯科医療安全に関する研修会

① 目的、概要

歯科医師や歯科診療所で働くスタッフの歯科医療安全に関する知識の習得や技術の向上を図るための研修会を開催

② 日時 令和3年10月14日（木）

③ 場所 山形県歯科医師会館からのZoomによるWeb配信

④ 内容

ア 「新型コロナウイルス感染症：わかったこと、わからないこと」

講師 山形大学医学部附属病院検査部部长・病院教授

感染制御部部长 森兼 啓太 氏

イ 「「感染対策できてます」を見直します！」

講師 公益財団法人大阪府看護協会 政策・企画・看護開発部

感染対策担当 感染管理認定看護師 岡森 景子 氏

（2）新任歯科医師等研修会

① 目的、概要

新しく歯科医療に従事する歯科医師等を対象として、医療安全管理のための基本的な考え方、具体的方策等についての研修会を開催

② 日時 令和3年12月18日（土）

③ 場所 山形県歯科医師会館4階大会議室ほか

④ 内容 最近の歯科相談の動向 など